

自由の森学園25周年記念企画

アマゾンからの伝言

南 研子さん 講演会

アマゾンの森は、地球の酸素の1/4を作っています。

飽食と物質的な豊かさ便利さに囲まれて生活している私達日本人は、知らず知らずにアマゾンの森にご迷惑をかけて生きているのです。

例えば、大豆なくして暮らせない日本の大豆供給率は、5%と聞きます。

日本への大豆供給国の第2位は、アマゾンの森があるブラジルです。

そして、バイオエネルギーとして環境にやさしいと、もてはやされているエタノールの原料は、サトウキビです。

今、アマゾンの森が焼かれて、大豆やサトウキビの畑に変わっています。

7代先まで考えて生きているアマゾンのインディオからの伝言に耳をかたむけ、次世代に何が伝えられるか、一緒に考えてみませんか？

2009
11 / 7 (土)

14:00~16:00

自由の森学園 大音楽ホール

会費 1000円(高校生以下無料)

主催 アマゾンからの伝言の会

問い合わせ先

H3-5 藤原 042-550-0822

mimo.19560527@ezweb.ne.jp

南 研子さん プロフィール

NGO熱帯森林保護団体代表

自森開校時・中1入学生の保護者

1989年イギリスの歌手スティングが「アマゾンを守ろう」というワールド・キャンペーン・ツアーを行い、日本を訪問した。その際、ボランティア・スタッフとして手伝ったのが縁で、同年5月「熱帯森林保護団体」を設立、活動を開始。

ブラジルでの1992年世界先住民族会議を機会に、その後24回にわたり、アマゾンのジャングルで先住民とともに毎回2ヶ月間以上暮らし、支援活動を継続中。